



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
コード番号 9308 URL <https://www.inui.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一井 聡 TEL 03-5548-8613
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,786	46.6	1,249	926.6	1,289	—	710	163.8
2026年3月期第1四半期	7,357	△12.6	121	△92.4	53	△96.7	269	△69.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,005百万円 (262.4%) 2026年3月期第1四半期 277百万円 (△80.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	28.20	—
2026年3月期第1四半期	10.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	79,577	38,246	48.1	1,518.85
2026年3月期	78,698	37,415	47.5	1,485.83

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 38,246百万円 2026年3月期 37,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	3.00	—	6.93	9.93
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		6.00	—	39.53	45.53

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	22,265	41.9	2,537	—	2,745	—	1,715	—	68.11
通期	43,253	28.6	5,649	161.7	5,726	192.6	3,822	358.7	151.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	26,072,960株	2026年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	891,527株	2026年3月期	891,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	25,181,438株	2026年3月期1Q	25,132,360株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の上昇や円安の進行等が寄与したことから、売上高は前年同期比3,428百万円増収（＋46.6％）の10,786百万円、営業利益は前年同期比1,127百万円増益（＋926.6％）の1,249百万円、経常利益は前年同期比1,235百万円増益の1,289百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比441百万円増益（＋163.8％）の710百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業（ロジスティクス）

外航海運事業におけるハンディ船市況は、穀物やマイナーバルクの底堅い荷動きに加え、中東情勢の影響等により市況が押し上げられる展開もあり、前年同期を上回る水準となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの平均為替レートは¥159.13/対US\$（前年同期は¥145.20）となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比3,446百万円増収（＋65.3％）の8,725百万円、セグメント利益は前年同期比1,070百万円増益の818百万円の利益となりました。

②倉庫・運送事業（ロジスティクス）

物流業界におきましては、貨物保管残高及び貨物取扱量は堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、一般倉庫の取扱高及び連結子会社の事務所移転の取扱高が増加した一方で、同社の引越業における取扱高が減少したことにより、売上高は前年同期比21百万円減収（△1.9％）の1,066百万円、セグメント利益は前年同期比22百万円増益（＋18.1％）の143百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、空室率は低位で推移するとともに、企業の拡張・移転需要を背景に堅調な市況が続きました。また、東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアでは再開発の進展と都心近接性を背景に、市況は好調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、プラザタワー勝どきが高い稼働率を維持したこと等により、売上高は前年同期比3百万円増収（＋0.3％）の993百万円、セグメント利益は前年同期比45百万円増益（＋9.1％）の540百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、貯蔵品や投資有価証券の増加、有形固定資産の減少等により前連結会計年度末比878百万円増の79,577百万円となりました。負債は、営業未払金や借入金の減少、未払法人税等や契約負債の増加等により前連結会計年度末比46百万円増の41,330百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比831百万円増の38,246百万円となりました。

この結果、自己資本比率は47.5％から48.1％になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して807百万円減少し、17,928百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として獲得した資金は、919百万円（前年同期は478百万円の資金の使用）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,289百万円、減価償却費1,030百万円、貯蔵品の増加額1,173百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、1,346百万円（前年同期比39.7%減）となりました。これは主として、定期預金の預入による支出1,000百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、553百万円（前年同期比42.0%減）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出395百万円、配当金の支払額157百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2027年3月期）の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2026年5月13日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2027年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当四半期連結累計期間実績 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	第2～4四半期前提 (自 2026年7月1日 至 2027年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	159.13	159.00
燃料油価格 (米ドル/MT)	617.07	769.04

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,184	19,374
営業未収金及び契約資産	1,546	1,783
有価証券	500	500
繰延及び前払費用	907	773
貯蔵品	1,773	2,947
その他	3,106	2,616
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	27,018	27,996
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	29,504	28,649
建物及び構築物（純額）	8,373	8,269
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,026	2,992
信託土地	204	204
建設仮勘定	56	205
その他（純額）	506	482
有形固定資産合計	42,805	41,936
無形固定資産	74	71
投資その他の資産		
投資有価証券	6,981	7,737
長期貸付金	1,204	1,234
退職給付に係る資産	—	7
その他	623	601
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	8,800	9,572
固定資産合計	51,680	51,581
資産合計	78,698	79,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,053	2,828
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	7,222	7,679
未払法人税等	427	596
契約負債	513	963
賞与引当金	94	27
その他	523	400
流動負債合計	14,544	15,206
固定負債		
長期借入金	22,072	21,354
繰延税金負債	1,324	1,456
退職給付に係る負債	81	77
受入保証金	1,428	1,387
特別修繕引当金	610	628
その他	1,220	1,220
固定負債合計	26,738	26,124
負債合計	41,283	41,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,685	11,685
利益剰余金	20,349	20,885
自己株式	△872	△872
株主資本合計	33,931	34,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,222	3,748
繰延ヘッジ損益	261	31
その他の包括利益累計額合計	3,484	3,779
純資産合計	37,415	38,246
負債純資産合計	78,698	79,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,357	10,786
売上原価	6,859	9,143
売上総利益	498	1,643
販売費及び一般管理費	377	394
営業利益	121	1,249
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	73	112
為替差益	54	105
その他	9	6
営業外収益合計	147	235
営業外費用		
支払利息	169	195
その他	45	0
営業外費用合計	214	195
経常利益	53	1,289
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	53	1,289
法人税、住民税及び事業税	4	571
法人税等調整額	△220	7
法人税等合計	△215	579
四半期純利益	269	710
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	710

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	269	710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	526
繰延ヘッジ損益	△60	△230
その他の包括利益合計	8	295
四半期包括利益	277	1,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277	1,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	53	1,289
減価償却費	913	1,030
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△66	△66
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	71	17
受取利息及び受取配当金	△83	△123
支払利息	169	195
為替差損益 (△は益)	△49	△57
売上債権の増減額 (△は増加)	369	137
契約資産の増減額 (△は増加)	△107	△375
繰延及び前払費用の増減額 (△は増加)	136	147
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△174	△1,173
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,052	△208
契約負債の増減額 (△は減少)	△141	449
未払費用の増減額 (△は減少)	7	△16
未払又は未収消費税等の増減額	22	24
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△7	△41
仮払金の増減額 (△は増加)	141	175
その他	△65	39
小計	136	1,438
利息及び配当金の受取額	73	112
利息の支払額	△216	△189
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△471	△441
営業活動によるキャッシュ・フロー	△478	919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000
固定資産の取得による支出	△1,732	△345
有価証券の取得による支出	△500	△500
有価証券の償還による収入	—	500
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,233	△1,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	934	—
長期借入金の返済による支出	△353	△395
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,534	△157
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△954	△553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△205	173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,870	△807
現金及び現金同等物の期首残高	18,652	18,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,782	17,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	5,279	1,087	990	7,357	—	7,357
セグメント間の売上高又は振替高	—	2	7	9	△9	—
計	5,279	1,090	998	7,367	△9	7,357
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△251	121	495	365	△244	121

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△244百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△244百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	8,725	1,066	993	10,786	—	10,786
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	7	7	△7	—
計	8,725	1,066	1,001	10,794	△7	10,786
セグメント利益	818	143	540	1,503	△254	1,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△254百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△254百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。